



橋口学の フローリストのための 植物造形レッスン

リース
2016 FLORENS オープンカレッジ



Information

「リース」「植物造形」「花束集中」
3つのレッスンコース
または、1日から学ぶことができます。

自然観察を通してフローリストの材料である植物の本質を知る**材料学**や
その植物から法則・考え方を知ることのできる美しい植物構造を学ぶ**造形理論**
と理論を形にするための**技法**を身に付けることができます。

>>> info@florens.jp / 03-5542-1603

*お申し込み・お問い合わせはメール又は電話で受け付けています。
名前、電話番号、希望の日時、職業(花歴)をお知らせください。


[会場]東京都中央区八重洲1-4-20東京八重洲ビル4F
丸三製薬バイオテック(株)FLORENS COLLEGE

[期間]2016年5月14日～2017年2月3日

[時間]11:00～17:30

[人数]各回先着12名(最少開講人数5名)

受講料15,000円(税抜)/回



花束集中

03

FLORENS
COLLEGE

Time Table

11:00 - 12:30	講義(植物デザイン理論)	「形、色、素材など植物素材をどう理解してどう生かすべきか」「美しいものを作るための黄金比は」など、論理的にフラワーデザインを学びます。
13:30 - 15:30	実習	各回のテーマに沿って基本を学ぶための制作をします。
16:00 - 17:00	実習のまとめ	制作した作品に対して各自のプレゼンテーションと、橋口先生からのフィードバックを行います。
17:00 - 17:30	質疑応答	1日を終えて、講義や制作に関わる質疑応答の時間です。最後に片付けと帰りの支度をして終了となります。



橋口 学

ドイツ国家認定フロリストマイスター。1997年渡独。国立花き芸術専門学校ヴァイエンシュテファン卒業後にミュンヘンの花店に勤務し、およそ9年間のドイツ滞在を経て帰国。現在は日本国内各地でフラワーレッスンやデモンストレーションを行うなど講師としても幅広く活動している。

5/14	Sat.	リース	「挿す」 材料：季節の切り花 リース型のフローラルフォームに切り花やグリーンを挿して作るリースです。ここでは「挿すテクニック」を学びます。
5/19	Thu.	植物造形	植生的な表現とは 制作：アレンジメント 自然観察からの材料の見方を学び、植物の扱いについて再確認します。植生的な表現を制作することで植物をデザインすることの本質を感じ取ります。
6 / 2	Thu.	植物造形	グルーピングの理解 制作：アレンジメント 自然の中の植物がどのような構成で生息しているのかを確認して、材料の配置の本質を知ります。グルーピングをする、しない、またどのようなグルーピングの仕方の可能性があるのかを考えます。
6 / 3 4	Fri. Sat.	花束 (2日間)	基本 「コンパクトな花束」：ラウンド (コンパクト) 高低差のあまりない、色や質感を強調した装飾的に見せる花束を制作します。テーマに適した植物材料の選び方、コンパクトでも植物の美しさを失わない方法を学びます。
7 / 9	Sat.	リース	「絡める」 材料：弾力のある枝、つる性の植物、グリーン つる性の植物材料を使用して「絡めるテクニック」で構成されるリースを制作しリースの大きさや密度、材料の固定方法のポイントを学びます。
7/21	Thu.	植物造形	シンメトリーとアシンメトリー 制作：アレンジメント 自然の中に見られるシンメトリー、アシンメトリーの構成を考える。それぞれの構成の造形的な意味を理解し、作品のテーマに応じた使い方を実践します。
7/28 29	Thu. Fri.	花束 (2日間)	応用 「フレームを使った花束」 枝でフレームを作り、花束を構成します。フレームの作り方、その意味と役割を理解しフレームと花が調和した花束を制作します。
8 / 9	Tue.	植物造形	アシンメトリー2 制作：アレンジメント さまざまなアシンメトリーの構成の実践と応用です。
9/13	Tue.	植物造形	生長点・MFPの理解 制作：アレンジメント 作品の中に存在する材料の出発点としての生長点・MFPの研究。作品のテーマや使用する材料、使用する器に対する生長点の選択の実践をします。
9/23 24	Fri. Sat.	花束 (2日間)	基本 「植生的な花束」：ラウンド (高低差) 高低差を付けて植物の生長や動きを見せる花束を制作します。花束に必要な材料を理解し、材料の正しい扱い方や雰囲気作りを学びます。
10/15	Sat.	リース	「組む」 材料：季節の枝 (秋) 枝を質感や枝分かれの状態を見極めてリング状に組み上げてリースを制作します。ここでは「組むテクニック」を学びます。
10/20	Thu.	植物造形	コンパクトな輪郭で見せる表現 制作：アレンジメント テーマや材料の選択次第では、より効果的に植物を表現するためにコンパクトな輪郭で制作する場合があります。
10/21 22	Fri. Sat.	花束 (2日間)	応用 「フリーセント、流れる花束」 流れるような材料を使って、抱えて持つような花束を制作します。美しい曲線を持った材料の個性や魅力を理解して、その特性に合った束ね方を学びます。
11/11	Fri.	植物造形	動きや空間を強調する表現 制作：アレンジメント 材料の特性をテーマに結び付けて構成する表現の研究。植物材料の活かし方や空間の取り方、テーマに沿った構成の方法を理解します。
12/15	Thu.	植物造形	オブジェ的な表現 制作：オブジェ 枝やつる性の材料を使用して、保水をしない立体的なストラクチャーを構成し、使用した材料の持つ本質的な美しさを学びます。
12/17	Sat.	リース	「巻く」 材料：コニファー類 (冬) 植物材料を巻き留めてリースを制作します。リースの芯になる番線と巻きつけるためのリースワイヤーを使い「巻くテクニック」を学びます。
1 / 19	Thu.	植物造形	草花を使用した表現 制作：アレンジメント 枝などの堅い材料を使用しない、柔らかな切り花のみで構成する作品作りとテーマ設定の可能性を研究します。
2 / 3	Fri.	植物造形	枝を取り入れた表現 制作：アレンジメント 堅いイメージの枝物と柔らかいイメージの切り花を組み合わせる作品作りとそのテーマ性、造形的な意味を理解します。